

穴埋め問題（問題）

第7章 果樹栽培作業

1. 果樹の生育

果樹の種類によって、（ ）がつくられる時期が違います。多くの果樹では、花が咲いて果実が実る（ ）に花芽がつくられます。花芽の形成には、2つのタイプがあります。モモやオウトウは、（ ）伸びた枝に花芽がつきます。リンゴ、（ ）、ブドウは、（ ）伸びた新しい枝に花芽がつきます。（ ）には、両方のタイプがあります。 = 【P96】 =

2. 果樹の栽培環境

① 栄養

果樹の生育には、（ ）、リン酸、カリのほか、バランスのとれた（ ）が必要です。肥料を与える（ ）と与える（ ）が適せつであることも大事です。

② 土壌

果樹が根を張り、養分や水分を吸収するためには、適切な（ ）が必要です。肥料が流れ出しにくいこと、（ ）性（水もち）、（ ）性（水はけ）が大事です。 = 【P97】 =

3. 接ぎ木の目的

- i 同じ（ ）や同じ系統の（ ）を増やします。
- ii （ ）開始期を早くします。
- iii （ ）によって（ ）期間で品種を更新します。
- iv 抵抗性台木によって（ ）の被害を少なくします。

= 【P100】 =

4. 整枝・せん定

枝を切る程度によって「（ ）せん定」と「（ ）せん定」があります。強せん定は（ ）成長を盛んにします。弱せん定は栄養成長を弱め、（ ）成長を盛んにします。

= 【P103】 =

5. 摘蕾・摘花

品質の良い果実を育て、翌年の（ ）を良くするために、（ ）つぼみ・花を摘み取ります。弱い苗や（ ）苗を旺盛に育てるために、（ ）のつぼみを摘み取る場合や、花や果実を大きくするために（ ）のつぼみを残して摘み取る場合があります。= 【P106-107】 =

6. 品種更新

① 改植

() が弱り、収量が少なくなった老木や () な品種の園地では、() 苗木に植えかえる「改植」を行ないます。

② 高接ぎ

果樹の枝に、() の枝を接木する方法です。元の(果樹の)枝を切るやり方と、() として残すやり方の2つのタイプがあります。 = 【P112】 =

7. 土壌の管理

① 施肥

成木では、肥料を土壌の() に散布する「() 施肥」がふつうです。このほか、深耕したとき有機物などと一緒に() に施用する「() 施肥」、肥料成分を水に溶かして木全体に吹きかける「() 」もすることがあります。追肥には、春肥、夏肥、秋肥があり、() 肥料が使われます。

= 【P116】 =

8. 種なしブドウの作り方

デラウェアでは（ ）前と、開花後の2回、（ ）の溶液に房を浸します。種なしができる（ ）であることを確認し、ジベレリンを使う時期と、溶液の（ ）をきちんと守ることが大切です。 = 【P118】 =

9. 主な果樹の植物成長調整剤の使用目的

- ・ 果樹の皮が（ ）を防ぐ : ウンシュウミカン
- ・ 種なしにする : ブドウ
- ・ 収穫前の（ ）を防ぐ : リンゴ、ナシなど
- ・ （ ）を早める : 多くの果樹
- ・ 根、枝の発生を進める : リンゴなど
- ・ 果実を大きくする : （ ）

= 【P119】 =

穴埋め問題（問題）

第8章 花き栽培作業、第9章 農作業の用語

1. 切り花生産の特色

切り花生産は鉢花や花壇苗に比べて（ ）が安いと、栽培地域の（ ）や地形などの条件を（ ）栽培が行われています。 = 【P123】 =

2. 切り花の品質低下の要因

切り花は養水分の（ ）が絶たれると、（ ）が行われないため、蒸散・呼吸によりしおれ、落蕾、（ ）、腐敗、不開花などが発生します。 = 【P124】 =

代かき・・・水田に水を入れて（ ）し、イネ苗が植えられる（ ）土の状態にすること

促成栽培・・・施設などを使い、普通栽培よりも（ ）に作物を栽培する作型

渋抜き・・・人工的に可溶性（ ）を不溶性（水に溶けない）の状態に変えること

（ ）・・・夏に天候の異常で気温が低く、作物に被害が出ること